

セルライゼートを利用した網羅的酵素解析による新規がん 蛍光マーカーの探索と診断技術の開発

1. 研究の対象

国立がん研究センター中央病院で大腸がんもしくは大腸の良性病変で内視鏡治療や外科手術を受けた方の検体

2. 研究目的・方法

目的: 本研究は、大腸内視鏡治療や外科手術を行った検体からたんぱく質を抽出し、開発されたがん特異的蛍光プローブとの反応を調べます。多数のがん特異的蛍光プローブから大腸がんの診断に有益なプローブを探索することを目的とします。

方法: 大腸内視鏡治療または外科手術で摘出した検体から組織の一部分(腫瘍部分および正常部分)を取ります。取り出した組織は-80度にて保管されます。保存した組織は共同研究機関である、東京大学大学院薬学系研究科薬品代謝化学教室または国立がん研究センターにてたんぱく質を抽出し、蛍光プローブとの反応を確認します。治療によって摘出した組織は通常の診療と同様にホルマリン固定の後に病理診断が行われます。本研究は、既に治療が終了した状態で、現在行われている日常診療の中で行われますので、患者さんに余計な負担がかかる心配はありません。

研究期間: 2027年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料: 2012年から2025年12月31日までに当院にて内視鏡治療もしくは外科手術で摘出した検体

情報: 年齢、性別、診断名、内視鏡所見、病理結果など

4. 外部への試料・情報の提供

本研究では摘出した試料および情報を共同研究機関である東京大学大学院薬学系研究科薬品代謝化学教室に提供します。その際に個人が特定される情報は削除して匿名化番号を新たにつけて送付します。個人識別番号と匿名化番号は内視鏡科のコンピュータ内に個人情報保護管理者(国立がん研究センター内視鏡科阿部清一郎)の責任のもと管理、保管します。

5. 研究組織

研究代表者

国立がん研究センター 内視鏡科 齋藤 豊

共同研究機関

東京大学大学院薬学系研究科薬品代謝化学教室 浦野泰照

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲
内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さん
の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先
までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 高丸 博之

国立がん研究センター中央病院 大腸外科 金光 幸秀

FAX 03-3545-3567/TEL 03-3542-2511

研究責任者：

国立がん研究センター 内視鏡科 齋藤 豊

研究代表者：

国立がん研究センター 内視鏡科 齋藤 豊